

100

の ターゲット

就任をいたしました時に、熊本の10年後の姿というものを「明日へのシナリオ」という形で大雑把に描かせていただきました。10年後の熊本は、例えば、農業の基盤の整備率で言えば、この程度の水準まで持っていきたい。あるいは、林道の整備率はこのくらいにしたい、下水道の普及率はこのくらいにしたいと、いろんなデータがその中に出てまいります。そういう大雑把な目標を置きまして、その目標に向けてできる限り分かりやすい形で県民の皆様方に絶えず関心を持っていただくように努めながら、県政を進めていきたいということを申し上げてまいりました。

なかなかあれもこれもと欲張って総花的な行政に陥らないように、できるかぎり、限られた目標というものを少しでも深く掘り下げていくということが当然の手法であろうと、そういうふうにいるわけでごさいます、従って、300も500も総花的な目標を掲げないで、それを100のターゲット・目標というものにしぼりまして—正確には、いま92~93だったと思いますが—それを極力掘り下げていくことに努力をしているところでございます。

その目標につきましても、先程申し上げましたように、できる限り県民の皆様方に、いまこの問題がどういうところまで進んでいるのかということをご理解をいただきながら進めていくということが大事なことだと思いますし、そういう意味で、2年ごとにその目標を公表いたしまして、そういう形で「100のターゲット」の推進に努めているところでございます。

平成元年度県政モニター会議
知事講演より



風の
コンパス